

地域づくり計画

～ 一人ひとりの絆を大切にした
『安心・安全なまちづくり』～



令和5年3月

小羽山地区まちづくり協議会
(小羽山地区コミュニティ推進協議会)

目 次

1	小羽山地区の概要	1
2	地域の将来像	2
3	地域づくりの目標（計画項目・取組事例）	2～6
	（参考資料）	
	【小羽山地区各種団体】	7～8

【平成28年度に作成された地域計画をリニューアルし、改訂版を作成しました】

1 小羽山地区の概要

小羽山地区は市内の中央部にあって、工業地帯・商店街地区の郊外に位置しています。かつてはみかん畑等であった山野を造成したベッドタウンで、昭和56年上宇部地区と新川地区の一部を併合し、新たに小羽山地区として発足しました。地区の面積は2.28km²で、市街地と宇部新都市の中間にあって、平成元年にはテクノロードが開通し、交通機能の利便性にも恵まれた地域です。また、小羽山地区は市中心部から近く、医療機関、郵便局、銀行、コンビニなど生活インフラが充実しており、かつ、幼稚園・保育園等もあり、子育てのしやすい環境です。令和元年度の山口県住宅課他が実施した「小羽山団地の住まい・住環境に関する市民アンケート」では、多くの項目で満足、やや満足と回答されている。

平成元年度に地域共生社会小羽山モデル地区に指定された。令和4年度に、「安親利他ネットワーク」を立ち上げ地域全体で地域共生社会を根付かせる活動に取り組んでいる。

◆ 人口と世帯数

小羽山地区	世帯 (世帯)	人口 (人)	年少(人)	生産年齢(人)	高齢者(人)	高齢化率 (%)
			14歳以下	15~64歳	65歳以上	
平成18年	3,248	8,214	1,359	5,611	1,244	15.1
平成23年	3,192	7,481	1,101	4,849	1,531	20.5
平成28年	3,169	6,994	928	4,002	2,064	29.5
令和4年	3,113	6,249	705	3,221	2,323	37.2

◆ 小羽山地区の現状・課題

(1) 健康づくり・保健福祉について

当地域の高齢化率は37.2%、後期高齢化率は17.3%といずれも本市に比べて割合が高く、今後も高齢者人口が増加する見込みです。一人暮らし高齢者は高齢者全体の29.7%を占めています。高齢者の孤立を防ぎ、心身の健康の向上と住み慣れた地域で暮らし続けるための取り組みが必要です。

また、生活習慣病に係る特定健康診査、後期高齢者医療審査の受診率は本市と同程度で、生活習慣病の予防、早期発見、早期治療のためには生活習慣病を理解し、生活習慣を見直し、健康診査を受診する人が増える必要があります。健康を維持・増進するために、個人が主体的に健康づくりに取り組むことが必要ですが、個人でできることには限界があり、地域全体で住民の健康づくりを支える必要があります。

誰もが気軽に集える居場所の確保や子どもから高齢者まで、三世代の交流、共生社会の推進、支え合いの福祉活動を推進することが大切である。

(2) 安心・安全な地域づくりについて

当地域は山沿いに立地していることから、地震や風水害の影響による土砂災害等が懸念されます。地区防災計画や学校等と連携した防災訓練などを通じて、常日頃から防災意識を高める必要があります。また、交通安全や防犯意識を高め、安心・安全な地域づくりが望まれます。

(3) 人材の創出・子どもの健全育成について

多様性が認められるようになった現在、時代の変化に適応した環境の改善が広く求められています。

人権等の観点のもとより、少子高齢化と人口減少等に対応し、地域コミュニティに参画できる人材の確保と創出が課題です。地域住民が協力し、諸々の課題に取り組むことで、子ども達の「郷土愛」を育み、すべての人が暮らしやすい地域づくりと人づくりをめざします。

(4) 地域資源の活用について

蛇瀬池や霜降山、護国神社、丸山様、人麻呂神社など自然や歴史的名所も多く、それらを有効に活用できる環境整備が求められると同時に健康づくりに活用できたらと思います。

2 地域の将来像

一人ひとりの絆を大切にした『安心・安全なまちづくり』

小羽山地区は、宇部市の中央部にあって、工業地帯・商店街地区の郊外に立地しています。地域には蛇瀬池や霜降山などの自然があります。

このような地域特性を鑑み、小羽山の自然と歴史を再発見し、地域住民相互の豊かな交流を基にして、また、地域共生社会小羽山モデル地区に指定を受け、子ども達を心豊かに育み、お互いが支え合って、安心して安全に暮らせる共生社会の充実したまちづくりをめざすことが大切である。

3 地域づくりの目標

(1) 健康づくり・保健福祉の推進

地域共生社会の充実をめざし、安親利他ネットワークを立ち上げ、自治会連合会、コミュニティ推進協議会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、安心安全見守りネットワーク推進協議会、親寿会、体育振興会、子ども会育成連絡協議会、福祉委員部長会、歩こう会等を中心として、健康づくり・高齢者の見守り・支え合い等に取り組みます。

また、誰もが身近な地域で気軽に集い交流できる地域福祉活動拠点（地域サロン活動）の整備や地域で様々な世代間が支え合える地域包括ケアシステムの構築に努めます。

計画項目・取組事例

計 画 項 目			
① 子どもから高齢者までの各世代における健康意識を高める取り組み			
・健康づくりの行事を積極的にPR、充実させます。			
・市主催の養成講座を活用して、人材の発掘・育成を進めます。			
・認知症予防・介護予防研修会を開催します。			
取 組 実 例			
事業名	事業内容	時期	主体
歩こう会	子どもから高齢者まで全ての地域住民が地域交流と健康づくりを推進する。	毎月	歩こう会
おばやまキッズ ACP	未就学児や小学生を対象とした体操教室	毎月	体育振興会
グランドゴルフ	高齢者がスポーツを楽しみ、地域交流と健康づくりを推進する。	毎週火・木・土	親寿会
宇部市 ソフトボール・ バレーボール大会	ソフトボール・バレーボールを通じて、地域交流と健康づくりを推進する。	8月	体育振興会
小羽山人間ドック	健康チェック、体力チェックを行い、専門家による個別のアドバイスを受ける。	6月・12月	コミュニティ推進協議会
校子連 ドッチビー大会	ドッチビーを通じて、地域交流と子どもの健康づくりを推進する。	7月	小羽山地区 子ども会

宇部市 ソフトバレー大会	地域住民がスポーツを楽しみ、 地域交流と健康づくりを推 進する。	1月	体育振興会
カローリング大会	子どもから高齢者まで全ての 地域住民がスポーツを通じて 地域交流と健康づくりを推進 する。	10月	体育振興会
ポッチャ大会	年齢や障がいの有無を問わず 誰もが参加でき、共生社会の中 心につながるスポーツを実施 している。	2月	体育振興会
計 画 項 目			
② 独居の高齢者などを地域で見守る仕組みづくり ・ 単身者向けの食事会を企画、運営します。 ・ 近隣のコミュニケーションが円滑にいくよう、挨拶・声掛けを実践して いきます。			
取 組 実 例			
ふれあい昼食会	ふれあいセンターで70歳以上 の独居の高齢者を対象に昼食 会を開催	11月	福祉委員部長会
計 画 項 目			
③ 地域福祉活動拠点（地域サロン活動）の充実 ・ 集会所や自治会館などを利用して、各世代の住民が気軽に参加・交流で きる場を広げていきます。			
取 組 実 例			
どんぐり山の会 (小羽山4区ふれあ いサロン)	小羽山4区集会所で介護予防・ 健康づくり等を目的にサロ ンを開催	毎週 火・金	住民有志
いききゆう会	東小羽山集会所で生きがい対 策・仲間づくり等を目的にサ ロンを開催	毎週 月・水・金	住民有志
憩いの会	小羽山16区集会所で66歳以上 の高齢者を対象にサロンを開 催	毎月1回 土曜日	住民有志
西山いきいき会	西山公会堂で60～90歳代の高 齢者を対象にサロンを開催	毎月 第2・4水曜日	住民有志
喜 楽 会	第二の2親寿会のメンバーに よるサロンを開催	第2,4 火曜日	住民有志
18区サロン	概ね60歳以上を対象	毎月第三日曜日	住民有志
認知症に ならない輪	11区～18区住民および地区住 民を対象	毎月第三火曜日	住民有志
ふれあい遊喜塾	小羽山11区県住集会所で主と して高齢者・子どもを対象に サロンを開催	毎週 火・水・木・土	住民有志

(2) 安心・安全の推進

自治会連合会、コミュニティ推進協議会、社会福祉協議会、自主防災会、交通安全協会小羽山分会、ふれあい運動推進委員会、見守り隊、安心安全見守りネットワーク推進協議会、母親クラブ、防犯部会、人権教育推進委員協議会等を中心として、交通安全・防犯の推進及び防災意識の向上等について取り組みます。

計画項目・取組事例

計 画 項 目			
① 交通安全・防犯など地域の安心・安全のための体制の充実 ・通学時の子どものあいさつ運動、見守り活動を実施します。 ・子どもや高齢者を対象とした交通安全教室などを充実させます。 ・防犯など地域の安全を見守る活動を実施します。			
取 組 実 例			
事業名	事業内容	時期	主体
交通安全立哨	交通安全協会小羽山分会が春・秋の交通安全運動期間に主要交差点で立哨	春・秋	交通安全協会小羽山分会
小学校等での交通指導支援	小学校4年生児童を対象に「自転車の安全な乗り方」教室を支援	5月	交通安全協会小羽山分会
安心安全ネットワーク推進協議会定例会	校区内の防犯や危険箇所、健康課題等の情報共有と対策を協議	毎月	安心安全見守りネットワーク推進協議会
街頭補導	夕方～夜間にパトロール	毎月	ふれあい運動推進委員会
公園等遊び場の安全点検	校区内の公園等の子どもの遊び場の安全点検	随時	母親クラブ
見回り・啓蒙活動	夏休み、年末年始、校区行事等におけるパトロールや啓蒙活動	随時	防犯部会
見守り活動	小学校登下校時での交差点等の見守り	随時	見守り隊
計 画 項 目			
② 自主防災体制の充実 ・非常時の具体的な被害状況を想定した効果的な訓練方法について、検討していきます。 ・地域と小学校が連携する仕組みづくりに取り組みます。			
取 組 実 例			
防災訓練	校区内においてAEDや消火器等の防災訓練を実施	年2回	自主防災会
防災研修会	体験・施設見学	年1回	自主防災会
緊急時児童引き渡し訓練	緊急時児童引き渡し訓練	7月	小羽山小学校
計 画 項 目			
③ 暮らしやすく、居心地の良い環境づくり ・日頃から近所で助け合う人間関係を築くため、誰でも参加でき、人と人が話し合い、学習する機会を作っていきます。			
取 組 実 例			
人権教育推進大会・学習会	校区内の人権意識の推進	2月（大会） 6・9月（学習会）	人権教育推進委員協議会

(3) 人材の創出・子どもの健全育成の推進

自治会連合会、コミュニティ推進協議会、社会福祉協議会、母子保健推進委員会、子ども会育成連絡協議会、放課後子ども教室推進協議会、体育振興会、見守り隊等を中心として、登下校の見守りや世代を超えて子ども達が参画できる地域行事等の交流を通じて、次世代を担う若者が育ち住み続ける魅力あるまちづくりに取り組みます。

計画項目・取組事例

計 画 項 目			
① 子どもの健全育成に関わる仕組みづくり ・地域内であいさつ運動、見守り活動を実践します。 ・子どもたちを地域で守り育てる思いを地域の大人がしっかりと実践していきます。 ・地域の人を活用し、人材を充実させていきます。			
取 組 実 例			
事業名	事業内容	時期	主体
見守り活動	小学校登下校時での交差点等の見守り	随時	見守り隊
夢っ子広場	校区内の子育て支援	随時	母子保健推進委員会
計 画 項 目			
② 子どもと地域の大人が関わる機会の充実 ・三世代交流のイベント等を実施します。 ・子どもと地域の大人が触れ合う機会を増やします。 ・地域のできるだけ多くの人が学校行事や運営に理解を深めてもらいます。			
取 組 実 例			
放課後子ども教室	工作や料理教室などを通じて、伝統文化に親しみ、楽しみ方を体験する。	随時	放課後子ども教室推進協議会
おばやまキッズACP	未就学児や小学生を対象とした体操教室	毎月	体育振興会
小中環衛連美化活動	小学生・中学生・環衛連合同により地区内の清掃	年1回	環境衛生連合会小羽山支部
夏まつり	小羽山中央公園で夏まつりを実施	8月	コミュニティ推進協議会
ふるさとまつり	地区をあげてコミュニケーションを図る。	11月	コミュニティ推進協議会
どんど焼き	伝承行事を通じ三世代のコミュニケーションを図る。	1月	コミュニティ推進協議会

(4) 地域資源活用の推進

蛇瀬池や霜降山の環境整備については、自治会連合会、コミュニティ推進協議会、社会福祉協議会、環境衛生連合会小羽山支部、親寿会等を中心として、環境美化に努めるとともに、近隣校区や関係団体等と連携しながら活用方法について研究・検討を行っていきます。

また、地域人材の創出、住み良いまちへの環境改善、きれいでゴミのないまちづくりに取り組みます。

計画項目・取組事例

計 画 項 目			
① 自然環境保全の活動 ・地区内の清掃活動を推進します。 ・地区内の環境美化活動を推進します。			
取 組 実 例			
事業名	事業内容	時期	主体
校区一斉空き缶拾い	小羽山地区内の空き缶・空ビン等の回収	6月・10月	環境衛生連合会小羽山支部
環衛連研修会	体験・施設見学	年1回	環境衛生連合会小羽山支部

小・中・環衛連 美 化活動	小学生・中学生・環衛連合同に より地区内の清掃	年1回	環境衛生連合 会小羽山支部
環境整備	ふれあいセンター周辺の剪 定及び環境整備	随時	親寿会

- ② 地域資源の有効活用
- ・ 様々な地域資源(ひと・モノ)を尊重し、コミュニケーション機会を増やします。
 - ・ 地域内や隣接地域の情報を活用し、多様なひととの交流を深めます。
 - ・ 地域に関する資料を収集、整理、整頓し、デジタル化を図ります。

取 組 実 例			
事業名	事業内容	時期	主体
ものしり博士づくり計画	郷土愛の醸成と人材の創出	随時	コミュニティ 推進協議会
ふるさと小羽山 LFDX計画	地域コミュニティのDXサポ ートよろず相談や人のつな がり小羽山地区ウェブサイ トの運営	随時	ICTソリューシ ョン部

【 小羽山地区各種団体 】

- ◎ 自治会連合会・・・・・・・・小羽山地区内の自治会相互の親睦、運営上重要な事項について情報交換を図ると共に、小羽山地区のコミュニティづくり、また、地区発展に協力する。
- ◎ コミュニティ推進協議会・・・・小羽山地区住民が地域の連帯感に基づき、協力と協調を図り、住みよい地域共生社会をつくるために共通の活動目的を掲げ、各種団体等の組織活動の調整と推進を図る。
- ◎ 社会福祉協議会・・・・・・・・小羽山地区における地域福祉の推進を図り、地域共生社会を作ることを目的とし、ボランティア団体への財政的援助を行い、活動の活性化を図る。
- ◎ 安親利他ネットワーク・・・・コミュニティ・自治連・社教、小羽山地区全団体により地域共生社会小羽山モデル地区の実現をめざす。
- ◎ 民生児童委員協議会・・・・・・・・地域福祉活動の担い手として、高齢者・障がい者・一人親家庭の相談を行っている。
- ◎ 環境衛生連合会小羽山支部・・・・きれいな地区をめざし、年2回の地区一斉清掃等を立ち上げ活動している。ゴミの分別指導や地区の環境衛生を考え協力を呼びかけている。
- ◎ 交通安全協会小羽山分会・・・・交通事故のない明るいまちづくりをめざし、活動している。
- ◎ 体育振興会・・・・・・・・住民の体育・体力の向上を図るため、三世代交流や各種体育行事を企画・活動している。
- ◎ 親寿会(老人クラブ連合会)・・・・運動会やふれあいセンターの環境整備・サークル等、様々な活動を行っている。
- ◎ ふれあい運動推進員会・・・・街頭補導や啓発活動を行い、青少年の健全育成に取り組んでいる。
- ◎ 小学校PTA・・・・・・・・保護者と教職員が協力して教育の推進と児童の健全で幸福な成長を図ることを目的に活動している。
- ◎ 小羽山地区子ども会・・・・子ども達の健やかな成長を願い、球技大会・防災訓練・まつりへの参加等、様々な活動を行っている。
- ◎ 人権教育推進委員協議会・・・・地区の人権推進に取り組み、毎年人権教育推進大会・人権学習会を開催している。

- ◎ 自主防災会・・・・・・・・・・ 住民の自主的な防災活動を行うことにより災害(地震・水害・火災・その他)による被害の防止と軽減を図ることを目的として、訓練・研修会などを実施している。
- ◎ 母子保健推進委員会・・・・・・・・ きめ細やかな母子保健推進のために地域で身近な相談役として育児サークルなど、様々な活動を行っている。
- ◎ 母親クラブ・・・・・・・・・・ 地域の子どもの安心・安全を見守り、公園の遊具点検・通学路の安全確認・安全マップの作成など地域と共に活動している。
- ◎ 放課後子ども教室・・・・・・・・ 子どもたちの健やかな成長を願い、より多くの経験・体験をさせるよう様々な企画を行い、活動している。
- ◎ 福祉委員部長会・・・・・・・・ 小羽山地区の地域福祉活動の実現を図るため、自治会内に福祉委員を置くことにより自治会内の福祉を推進し地域共生社会の実現をめざす。
- ◎ 防犯部会・・・・・・・・・・ 地域の安全を目的に警察署等と協力しながら、防犯活動を行っている。
- ◎ 安心安全見守りネットワーク・ 見守りと高齢者・障がい者のサポート活動を主に推進協議会 展開している
- ◎ 見守り隊・・・・・・・・・・ 子どもの安全指導に力を入れ、登下校時の見守り活動等を行っている。
- ◎ 歩こう会・・・・・・・・・・ ウォーキングを実践することにより、健全な健康づくりと愛好者相互の親睦を図ることを目的に活動している。
- ◎ 生活応援隊・・・・・・・・・・ 独居高齢者を対象とした、有料ボランティアの活動を実施。
- ◎ ICTソリューション部・・・・ 地域コミュニティのDXサポートや地域課題であるデジタル・デバインド(格差)改善など、人づくりと継承を目的として、各種の補助活動を行っている。

地域共生社会小羽山モデル地区

安親利他ネットワーク

社会福祉協議会

- 民生児童委員協議会
- 福祉委員部長会
- 人権教育推進委員協議会
- 生活応援隊
- いさいきざろん

コミュニティ推進協議会

- 歩こつ会
- 社会教育推進委員会
- 放課後子ども教室
- 地域活動連絡協議会
- 見守り隊
- ふれあい運動推進委員会
- 防犯部会
- 環境衛生連合会小羽山支部
- 体育振興
- 交通安全部長
- 母子保健推進会
- 親寿会
- ICTソリューション部
- 小・中学校PTA
- 小羽山地区子ども会
- センター運営協議会

自治会連合会

- 単位自治会
- 安心安全見守りネットワーク
- 自主防災会